



ADRC Highlights

Vol.148

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

1 October 2006

▶ 国際防災オープンフォーラム開催迫る

アジア防災センター(ADRC)では、このたび、国連大学(UNU)および内閣府、国連国際防災戦略事務局(UN/ISDR)、国連教育科学文化機関(UNESCO)、世界銀行との共催により、国際防災オープンフォーラム「災害に強い社会づくりを目指して～防災教育と持続可能な開発を考える～」を2006年10月19日(木)14～17時30分、東京のUNハウス・ウタント国際会議場にて開催します。

今回のフォーラムは、災害に強い社会づくりを目指すために、教育、インフラ開発、コミュニティの役割について議論を行います。

参加費は無料で、どなたでも参加できるこのフォーラムでは、現在、参加希望者を募集しております。希望される方は、2006年10月12日までに、氏名・職業・住所・電話/FAX番号をお書きの上、アジア防災センター「国際防災オープンフォーラム」係宛にメール(octoberforum@adrc.or.jp)、もしくはFAX(078-262-5546)にてお申し込みください。詳細は、http://www.adrc.or.jp/events/octoberforum/October_Forum_J.htmに掲載しています。みなさまのご参加をお待ちしています。

▶ JICAトルコ災害被害抑制研修(講師)コースを実施



ADRCは、国際協力機構(JICA)からの受託事業として、2006年8月21日から8月26日にかけて、「トルコ災害被害抑制研修(講師)コース」を実施しました。この

研修は、JICAトルコ事務所が実施している「災害被害抑制プロジェクト」の一環として、現地で行われる防災担当行政官および技術者研修の講師を日本へ招聘し、日本の防災システムや技術を学び、現地研修に必要な情報を収集してもらうことを目的として実施されました。

このような目的の下、今回の研修では、現地ではエンジニア研修を担当する講師4名を招聘し、地盤・構造工学、都市計画、消防防災、自治体の防災システムなどについての講義を各専門家から行っていた

いただきました。研修員は日本の防災についての高い技術や意識の高さに関心を示し、どの講義に対しても大変熱心に取り組んでいました。

研修の最終日には、現在姫路市にある高校で行われている耐震補強工事の現場を視察し、耐震補強の技術について実際に学ぶことができました。地震国であるトルコでは、耐震補強の重要性が認識され始めており、大変貴重な機会となりました。

最後に、当研修実施にあたり、快く訪問等を受入れていただきました各関係機関の皆様には、この紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。今後とも引続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。当研修につきましましては、小鹿主任研究員(kojika@adrc.or.jp)までお願いします。

▶ アジア最新災害情報

□ ラオス北部での洪水

ラオス北部に位置するラングナムサ県の当局によりますと、2006年8月7日、豪雨に襲われたラングナムサ地方を中心に洪水が発生し、住民や農耕地へ深刻な被害を及ぼしました。これにより、18の村の2,474家族、13,424名が被災し、1名の死者が確認されました。



この洪水に対し、県の防災委員会は早急に対応し、被災者を安全な場所へ避難させ、飲み水、食糧などの救援物資を提供しました。現在、県の防災委員会は、政府に対して、追加の食糧、飲料水、医薬品などのために、約2億9,800キープ(約US\$28,650)の支援を求めています。被災地では、現在水が引き始めており、県の防災委員会はデータ(特に農業分野に関して)を収集し、正確な情報を国家防災事務所に提供する予定です。

ラオス政府は、この洪水による被災者に対して、救援基金を計上する予定です。さらに、国家防災委員会は、被災者への支援を行うために、内外の関係機関と協力しています。

なおこのレポートは、元ADRC客員研究員のボワシー・タマサック氏(ラオス労働福祉省社会福祉局国家防災事務所情報担当)から寄稿されたものです。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行：Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(262)5540 FAX: 078(262)5546

誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行(予定)